

9月1日が審判の日

あなたのご支持を

医療・介護に39年
元介護施設長の

日本共産党の女性に

羽咋から
審判を!

“命の平等”が政治活動の原点
みなさんの願い実現めざしてがんばります

再稼働やめて、
原発即時ゼロへ

---9月半ばで、再び稼働原発はゼロになります。

消費税大増税は中止せよ

---安倍首相は「9月中に判断する」と言っています。

▼ 国保税 1人平均年2万円引き下げを

まずは4億円貯まっている「国保基金」を活用しての引き下げです。抜本対策は、国の負担分を元に戻させること(48%の負担だったのに現在 24%しか負担していません)

▼ 介護保険の利用料軽減へ抜本対策を

「利用料が高すぎて介護サービスを減らしている」---こんな声がいっぱいです。利用料の軽減策をきちんととって、“保険料払って介護なし”をなくすためにがんばります。

介護慰労金、いまこそ復活を!

羽咋市でも2000年の介護保険制度が始まる前までは、寝たきりの方の在宅介護に介護慰労金制度があり、月12000円出していました。

●介護慰労金は県内2町で実施

中能登町	月 20,000 円
川北町	月 50,000 円

▼ 仕事と雇用確保へ

- 市民の共同出資による「太陽光発電所」などの設立を支援して、新たな仕事と雇用を。
- 住宅リフォーム助成制度を充実・継続する。
- 「ワーキングプア」をまず市の臨時職員からなくしていく。

議員のあり方が問われています

「国保税引き下げを求める請願書」には日本共産党議員だけが賛成(昨年12月議会) 「消費税増税中止を求める請願書」には賛成2名(今年6月議会)

昨年12月議会に、876人の署名とともに提出された「国保税引き下げを求める請願書」は、日本共産党議員以外全員反対して不採択。

今年の6月議会に出された「『年金2.5%削減中止』の意見書提出」には賛成3人、「『TPPへの参加に反対』の意見書提出」には賛成3人でした。

市民の願いをどう受けとめているのか、議員のあり方が問われています。